

お客様事例

大丸藤井株式会社 様



企業プロフィール

創業 : 1892(明治25)年8月25日
 本社 : 札幌市白石区菊水3条1丁目8番20号
 従業員数 : 1,019名(内正社員732名)
 事業内容 : 洋紙、板紙、文具、事務用品、紙製品、OA機器、オフィス家具、インテリア、家庭雑貨、日用品、化成品、包装資材、FA機器などの販売及び店舗設備、環境設計
 HPアドレス : <http://www.daimarufujii.co.jp/>



稟議はペーパーレスで効率化狙う 自社開発で最善のワークフローに！

創業113年を誇る総合卸売業の大丸藤井株式会社様では、IntrameriTのワークフローを導入し、稟議・決裁など申請業務の大幅な効率化を図っています。2004年から使い始め1年間で約2万9千件の帳票をペーパーレスで処理しました。まだ全社で使う申請書類の10%程度をワークフローに載せた段階ですが、すでに効果の程を実感されています。

▼お話を伺った方



情報センター
センター長
佐々木 伸二氏



情報センター
課長
横濱 浩一氏

情報システムへの投資は積極的

■ 御社の概要を教えてください

佐々木氏 「大丸藤井は明治25年に創業した総合卸売業です。最初は紙製品の販売から始まり、その後、文具・事務機器・事務用品・雑貨・パソコン・ネットワーク・ソリューションと扱品目を増やしてきました。事務所/店舗に関するものならば、すべて大丸藤井で揃います」

横濱氏 「お客様からは『大丸藤井なら何でも揃う』という利便性を評価されています。特に地方に行くほどこのメリットは大きいですね」

佐々木氏 「扱いアイテム数が多い点と情報システムへの投資には積極的な社風があります。これは量販店に納入するにはシステムが必須なことなどからです。特に97年の『情報インフラ整備プロジェクト』では全社的な構想を掲げ、PC一人一台の環境、ネットワーク化、グループウェアの導入、データウェアハウスの

活用、ポータルサイトの活用、ワークフローの活用など方向性を決めました」

横濱氏 「やっと昨年ワークフロー導入に着手しましたが、まだ始めたばかりです。とはいえ、現時点でも結構な効果が出ています」

まだ10%、それでも効果を実感

■ ワークフローの活用方法は？

佐々木氏 「社内ですべての申請書類のペーパーレス化を図っています。稟議書や決裁書、総務/人事関連書類など現在およそ140種類の申請書類が存在します。現時点では、その内の10%、14種類をワークフローに取り込みました」

横濱氏 「すでに稼働しているのは、部門長決裁書、役員決裁書、仕入先新規取引決裁書、仕入先契約改定決裁書、得意先新規取引決裁書、得意先契約改定決裁書、休暇届・時間外勤務届、勤怠届、事業報告書申請書、取引先甲辞報告、取引先慶事報告、印鑑証明書・登記簿謄本申請書、臨時・パート社員アカウント申請です」

佐々木氏 「ワークフローを導入してから、現場では『随分楽になった』という実感があります。印鑑を押して次の人に紙を回してという手間をなくしたのですが、そんなことのために如何に時間を使っていたか、はっきり認識できました」

横濱氏 「たった14種類ですが、1年間に2万9千枚もの帳票が使われています。支店、出張所なども含めて全社員、約750台のクライ



【情報センターでワークフローを開発】

アントから活用されています。従来はこれがすべて紙に印刷されて、しかも複数枚コピーして、複数箇所に保管して、と大変なコストが掛かっていました」

佐々木氏 「紙の場合、申請書が誰のところに回っているのか、どこで止まっているかを確認するだけでも一仕事でした。本人が居なければ秘書に連絡して机の上を探してもらうとか。ワークフローなら誰が決裁していないか一目で分かるので、決裁者も素早く判断しなければと意識するようになってきました」

自社開発には二つの狙いあり

■ エディタで自社開発する狙いは？

佐々木氏 「ワークフローエディタも導入し、自社で開発している狙いはいくつかあります。ひとつは、自社の業務フローにピッタリと合ったオーダーメイドのものを作りたい、という点です。創業113年と歴史の古い会社ですから、いろいろな点で独自の流儀があります。例えば、



【ポータルサイトのトップページ】



【ワークフローのトップページ】

申請書の承認経路にしても職制だけで決めることは難しく、ある案件に関しては、どうしてもAさんを通さないと、なんてことが結構あるものです」

横濱氏「そういう日本的な複雑さに、小回りを利かせて対応するには自社開発が有利です。それともう一点は、ワークフローエディタでどこまで開発できるのか？という限界を確認する意味もあります。大丸藤井はソリューション提供も業務の一つですから、IntrameriT自体を外販することも視野に入れています。実際いくつかの案件が既に上がっています。」

佐々木氏「ノウハウを蓄積しながら自社開発もしているため、開発スピードは少し遅くなっています。まだ14種類しか載っていないのはそういう理由もあります。その代わり『エディタではここまでできる』とか、『ここから先は都築電気に依頼しないとダメ』などのノウハウが貯まってきました」

横濱氏「ワークフロー導入前には4～5製品の価格や使い勝手などを比較しました。著名なグループウェアも検討しましたが、申請経路を都度設定しなければならないとか、複雑なことができないなど機能的に物足りませんでした」

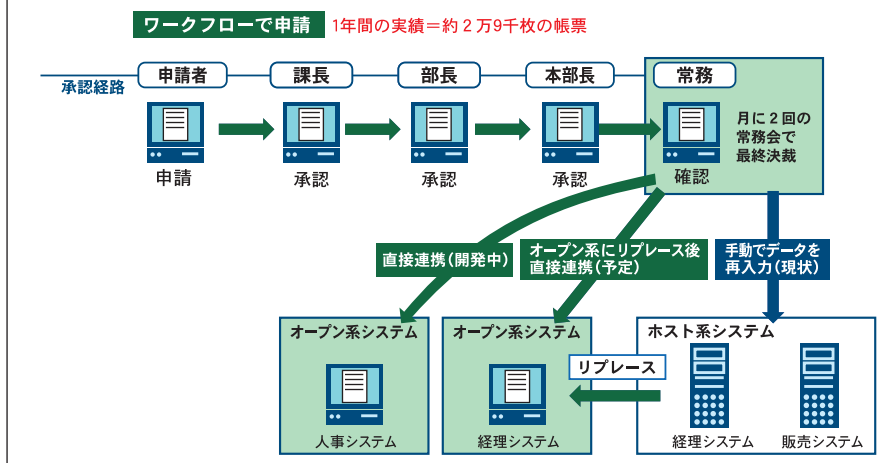
佐々木氏「その点、IntrameriTは大丸藤井のニーズにピッタリだった訳です」

最終目標は、基幹系との連携

■ 次の展開はどうお考えでしょう？

横濱氏「まずは140種類の申請書類を、すべてワークフローに載せることが優先です。ただし、その過程で『本当にこの書類が必要なのか？』、『別の業務フローに変えた方がよいのでは？』など、仕事のやり方自体の洗い直しも行います。そのような見直しをすることで筋肉質な会社にすることができます。実際にはこの部分の検討にかなりの時間が掛かっており、自社開発だからという理由より遅れの大きな要因となっています」

●書類申請・承認・登録のフロー



佐々木氏「今はまだワークフローと基幹システムとの連携は手作業で行っている部分がありますが、これも自動的にできるようにします。それができてやっとワークフローのメリットを100%発揮できるでしょう」

横濱氏「まずは経理の会計システムとの連携を考えています。出張旅費精算、経費精算などをワークフローで申請し、承認がおりればそのまま会計システムにデータを渡し、自動的に口座に降り込む、という流れです。現在は小口現金を部署ごとに準備していますが、うまくすれば経理部門を本社一箇所に集約することも可能になるかもしれません」

佐々木氏「販売や人事などの基幹システムとの連携も将来的には考えたいと思います。ただし、今使っているホスト系システムからオープン系にリブレースしてからの話になります。会計システムはちょうど夏ごろオー

ペン系に移行する予定なので、会計システムと連携した導入をと考えています」

横濱氏「ホスト系システムとの連携も検討しておりますが、費用対効果あまりに悪すぎるとい点から、やはりオープン系に変えてからと考えています」

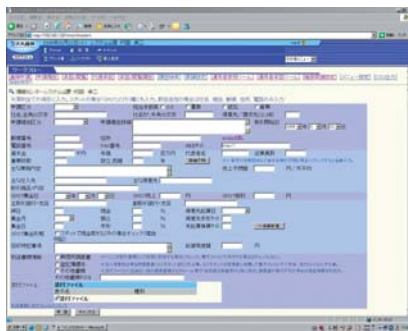
開発の自由度を高めて欲しい

■ IntrameriT へのご要望は？

佐々木氏「ひとつはワークフローエディタで開発する際の制約をできるだけ減らして欲しいです」

横濱氏「エディタのバージョンアップによって、これまでも徐々にできることが増えてきました。例えば、一度稟議で否決された申請書の内容を、一部修正して再提出できるようになりました。今後も、開発中に気づいた点について都築電気さんにフィードバックしますから、制約を減らす方向でのバージョンアップを期待しています」

佐々木氏「それともう一点。ワークフローの本来の使い方からはずれるかもしれませんが、申請書類の内容を途中で変えられるようにしたいですね。順番に回していく上で少し書き加えたいなど、書き換えると言うよりも変更履歴を貯めていけるような仕組みがあると便利だと思います」



[仕入先新規取引決裁書の入力画面]

ツズキデンキ 都築電気株式会社

<http://www.tsuzuki.co.jp>

お問い合わせ先

担当部署: ウェブアプリケーション部 EIP推進課
 電話番号: (03)6833-7772 E-mail: meritinfo@tsuzuki.co.jp
 商品紹介URL: <http://www.intramerit.com>

本社 〒105-8665 東京都港区新橋6丁目19番15号(東京美術倶楽部ビル) (03) 6833-7709

- | | | |
|---------------------|---------------------|---------------------|
| 北海道支店…(011)221-1161 | 川崎営業所…(044)233-9456 | 京都支店…(075)256-2181 |
| 旭川営業所…(0166)25-1271 | 甲府営業所…(055)224-3211 | 神戸支店…(078)332-3351 |
| 室蘭営業所…(0143)44-4508 | 鹿島出張所…(0479)46-3595 | 岡山営業所…(086)225-6811 |
| 神奈川支店…(045)201-3611 | 名古屋支店…(052)231-9101 | 広島営業所…(082)221-8332 |
| 東北営業所…(022)263-8371 | 静岡営業所…(054)251-2205 | 高松支店…(087)812-6611 |
| 水戸営業所…(029)226-1011 | 浜松営業所…(053)452-6126 | 徳島営業所…(088)623-5861 |
| 筑波営業所…(029)852-1261 | 豊田営業所…(0565)31-2395 | 松山営業所…(089)943-3725 |
| 大宮営業所…(048)644-3581 | 大垣営業所…(0584)82-5388 | 高知営業所…(088)882-1216 |
| 千葉営業所…(043)242-2251 | 大阪支店…(06)6204-7000 | 九州支店…(092)411-6910 |

本カタログの記載内容は、予告なく変更されることがあります。また、記載されている社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。◆製品の仕様は改良のため予告なしに変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。



(2011年 4月現在)